

みんな みんな

2001年 5月 10日 Vol. 21

特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

NPOと企業

早いもので当センターの理事に就任してから半年以上が経過した。そんな中で、理事になってすぐにサンフランシスコへ視察に行けたのは非常に幸運であった。まさにNPO漬けの1週間であったが、彼らの持っているミッションに対する想いの強さや行動力、そしてそれを支える社会のシステムなど、今後の私たちの地域を考えた場合でも必ず必要になってくるものを勉強できたことは大きな収穫であった。

今や、いかに暮らしやすく活力ある地域を作るか？という答えを、経済力の視点だけから語ることはできない。今までの価値観では豊かさはお金であり、モノであったわけだが、それだけで人間は果たして本当に豊かになったのだろうかということをもう一度考えなければならぬ時期に来ている。確かにベースとしての経済力は不可欠であるが、それ以上に人間らしく生きたいという想いが次第に強くなってきている。

お上が全てを取り仕切る、個人が組織に滅私奉公的に従属する時代は終わり、真の意味で自立した組織や個人の集まりが社会を形成していく流れのなかで、企業としてもその風向きを敏感にとらえ、自分の組織に新しい風を送り込まなくてはならない。そのためには、経営者自身がまず敏感に感じ取るべきであろうし、社員に対しても組織依存型から自立型への転換を図れるようなチャンスを与え続け、組織の風土も変えていかなければならない。それが新しい企画や商品開発につながり、企業が存続・発展していく流れができてくるはずである。

企業はコミュニティに目を向けてみよう。NPOだから、企業だからという枠組みを壊すことにより、新しい発見が可能となる。そう考えると、身近なところでは家庭の中にも町内会の中にも実はビジネスの種がいっぱいあることに気がつくはずだ。地域内の困った問題を解決するための商品やサービスが圧倒的に不足している現在、企業の持っているリソースの一部をほんのちょっとでも提供するだけで、大きな効果が期待できるのである。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 針生 英一

内容

当センター4月からの事業紹介、東北リレートーク「いしのまきNPOセンター」新スタッフ紹介、部会報告、本「超・ハーモニー」、はみだしトーク、事務局活動報告、会員の方へ、協力御礼、みんなみんな編集後記 ほか



表紙イラスト 幕田 晶子さん

せんだい・みやぎNPOセンターの4月からの事業をわかりやすく紹介 お役に立ちます！新規・継続事業！

■サポート資源開発

昨年5月から県内30数社の企業・団体の皆さんと共同で進めてきた「サポート資源開発プロジェクト」。みんみん3月号でも、その概要をお伝えしましたが、約1年間の調査研究の成果である「サポート資源提供システム」（以下、システム）が、この夏以降、具体的な実施段階に入ります。昨年度（3月まで）と同様、4月以降も日本財団からの助成をいただいでシステム開発を進めます。

システムは、地域の企業・団体・市民など支援者から市民活動団体・NPOへ様々な経営資源を提供する資源仲介機能と、市民活動団体・NPOについての情報を社会に発信する情報公開機能を担います。仲介・提供する資源としては、

- 物品・場所

- パソコン・情報
- 資金
- 人材・ノウハウ

の4メニューを予定しています。

今後、約2ヶ月間の準備期間を経て、今年7月にシステムの試験運用を開始する予定です。それまでの間に、事務局体制の整備をはじめ、

- 多くの市民活動団体・NPOにシステムに登録いただき、情報をスムーズに流す仕組みをつくる

- 地域の企業・団体などに積極的に呼びかけ、システムへの登録をいただき、サポート資源の発掘を進める

ことなどを進めていきます。また、システムの紹介パンフレットを作成・配布し、より多くの方々

事業・プロジェクト名	政 府 機 関	マ ジ ン ト	そ の た り き な り	情 報 ポ ー ト	親 戚 ・ 親 類	契 機 ・ 機 関	特 別 業 他	お役立ちポイント、一言説明
■NPO法制度改正	●							来る10月1日に施行される「新NPO支援税制」についての解説とその制度改正のセミナーを開催。第1弾は、6月25日の新NPO税制を考えるシンポ。
■サポート資源開発 ・システム開発	●		●					NPOや市民活動団体のサポート資源(資金・物資・人材など)提供のシステム開発の2年目。研究会の開催、システム運用を実施。
・情報公開拠点整備(新)		●	●	●		●		NPO・市民活動団体の情報を収集し、社会一般への情報提供の拠点として整備。情報公開支援を通じたNPOの社会的認知度アップを狙います。
・東北支援センター巡回(新)			●			●		東北各地のNPO支援センターにノウハウを提供し各地のシステム開発に寄与する。加えてシステムを実施する際の連携の基礎づくりを行う。
■宮城県内サポートセンター研修(新)		●	●			●		宮城県内5カ所のNPO支援センターのネットワークを強化しスキルアップを図ります。NPOの支援を民間で各地域から強力に実施していきます。
■NPO実践講座		●				●		NPOの運営にすぐに生かせるテーマで講座を開催。「役に立つ！」と大好評です。各団体の活力源としてご活用を。5月「広報・プレゼン活用術」。
■セナードサロン			●					市民活動の交流広場として96年から好評継続中。毎月タイムリーなテーマで開催中。どなたでもどうぞ。5月は「地域がフィールドの若者たち」。
■PONPO-NET			●					企業とNPOが議論したり、アクションを起こす場として開催。今年は、参加者同志の情報交換と活動へのアドバイスを実施します。
■アレマキャンペーン	●					●		「アレマ新聞」「アレマ隊活動マニュアル」もできてパワーアップ。ポイ捨てからまちづくりを考えるコンサルティングを継続中。仙台市環境局主催。
■環境学習ステップアップセミナー(新)						●		地球市民になるためのエンパワーメント(力づけ)の講座。環境学習とは、各環境NGOの講義、アクション報告など全8回。仙台市環境局主催。
■「青年リーダー」 すくすくプログラム	●	●				●		宮城県の青年育成プログラムの一つ。「NPOへのインターンシップ」や「NPO活動実践講座」企画力・実践力を養成します。宮城県教育庁主催。

にシステムを知っていただく努力を重ねます。皆さんの周りの市民活動団体・NPO、あるいは企業・団体についての情報をどしどしお寄せください。

試験運用の期間内には、物品など実際の資源提供を行いながら、システムの修正・改良を行います。また、NPO・企業の登録をさらに推進し、より多くの資源提供が行なわれる状況をつくっていきます。そして、約3ヶ月間の試験運用の後、その成果を全国に発信するシンポジウムを10月に開催、その後本格的なシステムの運用に入ります。

また、秋以降、東北各地を周る巡回フォーラムを実施、各地のNPO支援センターと連携しながら、宮城と同様のシステムを東北全域につくっていく取り組みも始めていきます。

県が設置・管理するNPO支援施設「みやぎNPOプラザ」が4月21日より開館しました。パートナーシップ運営を謳っており、施設管理は宮城県、HP情報入力と掃除とサロンの賑わい機能を3つのNPOに分割委託しています。これで宮城県内のNPO支援施設あるいは組織には、私たち「せんだい・みやぎNPOセンター」（民間組織）、官設民営の「仙台市市民活動サポートセンター」（仙台市設置、せんだい・みやぎNPOセンター管理・運営）の他に、「白石市民活動支援センター」（白石市設置、白石市民活動フォーラムが運営）、「古川NPO支援センター」（古川市設置、古川NPO支援センター運営委員会が運営）、「いしのみまきNPOセンター」（民間組織）、「気仙沼まちづくりセンター」（民間組織）、「おおさきNPO情報センター」（民間組織）があり、これに「みやぎNPOプラザ」が加わったこととなります。これによってますますサービスの比較が行なわれる時代が来るわけですが、そのなかで私たちは当センターのポジショニング（全国の中の、東北の中の、宮城県の中の、そして仙台市の中の）と果たすべき役割を考え、

■仙台市市民活動サポートセンター 管理・運営について

榴ヶ岡の旧県立図書館の建物を利用して、宮城

事業・プロジェクト名	政策推進	マネジメント	ネットワーク	情報サポート	相談・研修	研究・調査	特別事業他	お役立ちポイント、一言説明
市町村職員研修					●			市町村の行政職員にNPOの社会変革性などをレクチャー。地域住民の意見のくみ取りと政策への反映方法を講義します。
講師派遣(行政・企業・NPO)					●			「NPOについて知りたい・効果的に活用したい」というニーズに応え日本全国、東北各地に主体を問わず講師が出走します。日程調整はお早めに!
視察・ヒアリング対応					●			当センターの事業展開や、東北、宮城・仙台のNPOの状況をわかりやすくレクチャー。依頼者のニーズによって様々な対応が可能です。(有料)
NPO経営相談(新)					●			なかなか聞けないNPO活動上の悩み・問題を解決します。時間予約制で月1回開催。もちろんプライバシーは厳守。5月は25日(金)に開催。(有料)
評価システム研究会						●		まだまだ定まらない「NPOの評価」について研究。今年は米国で研修し仙台でシンポジウムを開催予定。NPOのためになる評価を研究中。
地域情報化リテラシー促進					●		●	地域の情報化を推進し、情報格差をなくすためNPO向けの「IT講習」を実施。産学官民の連携で地域情報ネットワークの構築を目指します。
仙台市市民活動サポートセンター ・運営・管理							●	仙台市の市民活動支援施設の運営・管理。この2年間で56839人の利用者、22046件の利用件数があり大きな成果を残しました。今年も応援を。
・人材育成		●					●	市民活動の普及・啓発と人材の育成を行うために、講座の企画と実施を行います。この事業は昨年も定員を越える申し込みが殺到した人気企画です。
・サポートセンター祭り(新)			●				●	市民活動の普及・啓発、市民・企業・行政の連携と交流を進めるためのイベントとして企画・実施します。ただいま企画を検討中。
・ホームページデータ管理(新)						●	●	ホームページの開設(平成13年度中の予定)に伴い、その管理と更新を行います。より身近なサポートセンターを目指してホームページを管理します。
■第3回 総会							●	9月9日(日)に第3回2000年度通常総会を開催します。万事前お繰り合わせの上ご参加ください。記念シンポジウムも企画、どうぞ期待!

3年先の社会的ニーズを見越した事業展開を行なっていきたいと考えています。

「仙台市市民活動サポートセンター」の管理・運営は3年目に入ります。1年目は施設利用に関する基本的なサービスの確立を、2年目は情報などソフト重視のサービスの向上を目標に取り組みできました。13年度はサービスの品質管理に重点を置きつつ、さらにせんだい・みやぎNPOセンターの持つノウハウやネットワーク、調査・研究事業などを活かしたソフト事業に力を入れた運営を心がけていくつもりです。具体的には、人材育成事業、サポートセンター祭り、HPによる情報発信などを推進することになりますが、新しい職員も加わっての新体制で、堅実で信頼性のある仕事をしたいと思っています。

宮城の地域NPO支援センターの組織経営力強化・交流プログラム

このプログラムは、県内各地に誕生した市民活動支援をテーマとする団体(5団体)との交流と、その組織経営に関する研修を目的としたものを「みやぎNPO支援センターネットワーク」としてスタートする事業で当センターも参加しています。この研修の対象は、各センターで組織活動の中心となって活躍している理事や事務局スタッフです。

この事業は、昨年12月、当センター主催の「セナードサロン」で初めて行われた各センターの交流会で、このような機会が定期的にあると

よいのにといい参加者全員の声を反映し、日本財団に事業への助成を申請して受理され、実施する運びとなったものです。

いま、NPOセクターの活動基盤を作り、促進する役割を果たす役割を果たす市民活動支援組織のニーズが高まっています。同様に、行政とは異なった、民間による市民活動を支える機能(しくみ)を確立することは、新しい公共を生み出す原動力になっていくと思います。けれども、なかなかこういった中間支援をする組織には支援となる資金が届きにくいのも現状です。そのため、このような組織では、目的を達成するための人材やノウハウを育む機会もそう多くはありません。私たちは、そういった機会を各地の支援センターとともに日本財団からの資金助成を受けることで、自らのサポート機能を高めていくことに取り組むことにしました。

この事業の目的は大きく分けて2つあります。ひとつは、県内でも市民活動支援を先行する形で行ってきた当センターの取り組みや情報や人材などの資源、また、仙台市市民活動サポートセンターの運営・管理を行ってきた経営・ノウハウなどを、新たに活動を開始した各地の支援センターに提供することです。もうひとつは、各センターがさまざまな面で相互に情報交換する機会を持つことで、宮城県内のNPOセクター全体の支援・促進を協働で行っていかうというものです。



Beny (ベニー) のはみ出しトーク

アーティスト発掘で、街角がステージに! これが、わが街の観光資源

最近、日本でもストリート系出身のバンドが増えています。外国でもよく街角や道端で演奏や大道芸をしているアーティストを見かけます。が、仙台など地域によっては、商店街と演奏者とのあいだでトラブルがおきているところもあります。さて、先日見たテレビでは、ニューヨーク市でストリートミュージシャンを観光資源と考え、オーディションで合格した人が演奏していることが紹介されてきました。この発想は面白いと思いましたが、なにより、若い人のエネルギーの発散できるステージをまちづくりの資源と考えて活用するというのは、グッドアイデア。インタビューされたミュージシャンも、選ばれたことを誇りに思っていると話していました。

これを日本で行なうとしたら、審査員は「ゆず」とか「つんく」。その先は、全国ストリートミュージシャンコンテストに発展させてとか。なんて、わたし流で勝手にオーディション企画を考えていました。

□ Benyさん: ベニムラ・アキコ



セナードサロン報告
第52回テーマ

「NPOとボランティアコーディネーター」

PONPO-NET

□3月19日

第52回セナードサロンは「NPOとボランティアコーディネーター」というテーマで、4月19日（金）当センターで開催しました。参加者は、仙台市にあるボランティアセンターの方やNPO団体など、総勢18名。それぞれの立場や経験から、いろんな話が飛び出しました。

例えば、あるNPO団体からは、年代によって（例：学生は試験がある時期はボランティアができない）時間の調整が必要なことが、また、コーディネイト側からはボランティアの分類のしかたや、寄せられた情報の流れ方についての説明がありました。その後「ボランティアをしたい人」に対してのPRのしかたやボランティアの需要と供給のバランス、さらに「まだボランティアをしたことがない人」たちの開拓をどうすべきか、という課題が出され、話がヒートアップ！時間があっという間に過ぎてしまいました。

今後、ボランティアを取り巻く情報の流れや、新たなボランティア人の開拓について、各コーディネイト機能施設やNPOが情報交換をしながら、連携していく必要があるようです。今回は、この点でとてもいいつながりができたのではないのでしょうか。次回は「地域がフィールドの若者たち」です。ぜひ、ご参加を。 (田中 聡子)

○参加者の関心が高い「サポート資源開発」の報告。「人材・ノウハウ提供」に関してはPONPO-NETとの連携も考えられる」という意見が出た。

○「CILたすけっとパンフレット作成サポート」は、参加者が持っているスキルやアイデアを出し合いながら進められた。

○「NPOは組織としての目標や戦略よりもリーダーの思いつきで事業をしてしまうことがある。一方企業では、必ず企画書を作り組織で合意してから開始する」という、NPOと企業の違いも話に上った。

□4月24日

○CILたすけっとより2つの企画が出され、参加者は所属団体NPOとして・学生として等いろいろな立場から発言。出されたアイデアは団体に持ち帰り、企画に活かしたいとのことだった。「NPOと企業の人意見交換できる場はなかなかないので続けていきたい」などの声から、PONPO-NETは今年度も実施されることになりました。今後はお互いの情報交換・アドバイスの場・アイデア出しの場として「参加したら得をする」ような会にしていけたらと思っています。

次回は5月31日（木）18:30～（中津 涼子）

会議室提供・東北NSソリューションズ(株)
(名称変更前：東北エニコム(株))

新スタッフ紹介！

春4月、出会いの季節。当センターにも、仙台市市民活動サポートセンター担当として新たに3名の職員（常勤1名、非常勤2名）が採用されました。どのスタッフも意欲にあふれたパワフルなキャラがウリ（?!）です。以後、よろしくお願ひします。

■質問事項□氏名①出身地②趣味
③当センターに勤めた理由④これからの抱負

□中務恵美（なかつかさ・えみ）（常勤）①兵庫県②歌、旅行③元気が出そうな団体だったから④毎日が勉強と発見です。色々な方々のお話を聞いて、自分の成長につなげて行きたいと思ひます。よろしくお願ひします。

□瀧澤陽子（たきざわ・ようこ）（非常勤）①千葉県②バドミントン。キャンプしながら、自然の中で本を読むこと。③「NPOを支援するNPO」という新しい活動に興味を惹かれました。広く市民活動について知り、体験し、新しい視点が得られると思ひたからです。④NPOのしくみや現状、現場について勉強し、活動をする市民の方々のお役に立てるよう、がんばろうと思ひます。

□古宇田文（こした・あや）（非常勤）①福島県②旅行③働きながら、NPOの情報を得たり、勉強することが出来るから。④専門知識を身に付けて、利用者の方々にしっかりサポートできるようになりたいです。 ■お立ち寄りの際は、ぜひ一声を！

東北リレートーク

宮城県 石巻市 いしのまきNPOセンター

宮城県の沿岸部に位置する石巻市と桃生郡・牡鹿郡の9つの町を活動エリアとする、いしのまきNPOセンターは、昨年11月に設立しました。設立までの経緯は、それまで10年近くにわたって石巻地域のまちづくりを実践してきた「石巻圏まちづくりデザイン会議」が、平成11年に宮城県より、地域でのNPOへの支援のありかたの検討を依頼されました。これを機会に、デザイン会議のメンバーと地域のNPO関係者、自治体の職員などにより検討会を設置し、議論や勉強を重ねながら一冊の提言書にまとめ関係者に発信しました。

その後、検討会への参加メンバーを中心に、民間主体のNPOへの支援を行う組織の必要性が提案され、検討会メンバーを中心に呼びかけを行い、現在の役員の方々が集まり、いしのまきNPOセンターの設立をすることができました。

センターの基本的な方針としては、センター自身の認知度を高め、経済的に自立することを当面の目標にしていけます。そのための活動の柱として、①地域内のNPOとの連携を進める、②地域の行政・企業・大学とNPOの協働を進める、③NPOの必要性を地域に発信していくことが必要、と考え、今年度の活動をしていく予定です。

現在、設立から5ヶ月しかたっていない状況で、まだまだ不備な面が多く、仕事のすべてを役員が手分けしてボランティアで対応しているのが現状です。一人でも多くの方々の賛同を得て、会員として支えていただけるようなセンターにしていくことを、目指して日々奮闘しているところです。

(事務局長 木村 正樹)

いしのまきNPOセンター

〒986-0827 石巻市千石町2-10
石巻グランドホテル内
電話 0225-93-8111

BOOK

超・ハーモニー

講談社

魚住 直子 著
本体1300円

「家出していた兄ちゃんが

「女」になって帰ってきた！」
親の期待を一心に受けやっと思いで有名中学に入学した少年、響(ひびき)。ユウウツな日々を過ごす彼の前に現れたのは7年前に家出をした兄、祐一だった。すっかり「女」の姿になった兄に、初め拒否反応を示していた響だが、やがて祐一のまっすぐで大らかな人柄に触れて心を開いて行く。それがきっかけとなり、響は「本当の自分」をさらけ出し、自分を縛っていたしがらみと向き合うことになるのだった。

この小説では「こゝにあるべきだ」という考えや偏見、コンプレックスに苦しめられていた響が、兄もかつて同じような体験をし、「女」の心を持つ自分と葛藤の末、家出したことを知る所が感動的だ。あるがままの自分を認めてもらうため、再び舞い戻ってきた祐一の気持ちは、響の気持ち、ひいては私たち全ての気持ちに繋がる。多様性の時代だと言われるが、それはすなわちお互いが、お互いのオリジナルを認め合うことから始まる

のだろう。自分が自分らしく生きていける社会の実現のために、決して自己完結的にならず、肩ひじ張らない祐一の生き方を求められているのだと思わされる。そして、NPO精神の原点のひとつも、また、ここにあるのではないかと感じた。

タイトルの「超・ハーモニー」という言葉の意味を考えると、例えば「ド」の音は「ド」の音、「ミ」の音は「ミ」でなければ「和音」にはなり得ない個性と共生、協調とは表裏一体のものである。「認めてもらいたい」という気持ちから逃げたいいけないという祐一のセリフがあるが、私たちはともすれば、個性的であることにごだわりすぎて、視線を外側に向けていることを忘れてしまう危険を持ちほしないだろうか。この物語にちりばめられた暖かい情景を通して、そんなことをゆったりと考えさせられた。

(中務 恵美)

活動報告

事務局活動報告 (2/23~4/14)

□ 事務局／自主事業関連

- ・ 当センター評議員会 (2/27)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター点検日 (2/28・3/28)
- ・ センター会議 (2/28・3/28)
- ・ 事業・運営会議 (第9回3/6加藤、紅邑、遠藤、高田、安国、青木、第10回3/22加藤、紅邑、遠藤、高田、布田、工藤、瀧澤、青木、第11回4/3加藤、紅邑、遠藤、高田、工藤、中務、古宇田、青木)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (3/7・14・21・4/4・11)
- ・ 事業企画会議 (4/12 加藤、紅邑、遠藤、高田、工藤、青木)
- ・ 理事会 (3/23第21回、4/14第22回)

□ NPO／企業関連

- ・ まちづくり研究会 (2/23紅邑)
- ・ NPO支援センタースタッフ研修<静岡>/主催：日本NPOセンター、しずおかエムエスオウ (2/23-24青木・工藤)
- ・ 中心市街地活性化委員会ワークショップ (2/24紅邑)
- ・ 山形県国際交流センター記念シンポジウム/(財)山形県国際交流協会 (2/25紅邑)
- ・ NPOフォーラム21in北上/主催：NPOフォーラム21、いわてNPO-NETサポート (2/28加藤)
- ・ 日本財団ファシリテーター養成研修 (3/1・21加藤)
- ・ 介護系NPOパワーアップセミナー<広島>/主催：住友社会福祉事業団、日本NPOセンター 共催：ひろしまNPOセンター (3/2-3加藤)
- ・ NPO見本市<三重>/主催：評価システム研究会 (3/10加藤・紅邑)
- ・ 日本NPOセンター理事会 (3/13加藤)
- ・ 「東北地域シンポジウム」/主催：三菱総合研究所、シンクネット21、河北新報社 (3/21紅邑)
- ・ 石巻研修事業 (3/23加藤・木村)

- ・ NPOマネジメントセミナー<北上>/主催：いわてNPO-NETサポート (3/24-25加藤)
- ・ 介護保険研究会/主催：日本NPOセンター (4/4加藤)

□ 自治体関連

- ・ マネジメント講座<高知市> (2/24加藤)
- ・ 環境学習プランワーキンググループ④/市・環境計画課 (2/26・3/12紅邑・遠藤・加藤)
- ・ 仙台市市民活動サポートセンター利用者懇談会 (紅邑3/2)
- ・ 四日市市役所職員研修 (3/5・6・15・16加藤)
- ・ かなんNPO研究会 (3/7紅邑)
- ・ 市民版環境ISOワーキンググループ/市・環境計画課 (3/7加藤・遠藤)
- ・ ボランティア団体・NPO経営講座/主催：秋田県 (3/8加藤)
- ・ 土地改良連合会 (3/9紅邑)
- ・ 仙台まち美化ネットワーク第2回世話人会/市・環境計画課 (3/14紅邑)
- ・ 北海道市町村職員研修 (3/15・16紅邑)
- ・ 中核機能拠点整備委員会/県・生活・文化課 (3/19加藤)
- ・ 民間非営利活動促進検討委員会/県・生活・文化課 (3/23紅邑)
- ・ 角田まちづくり委員会 (3/31加藤・遠藤)
- ・ 社会教育委員会 (4/10紅邑)

□ 相談、ヒアリング関連

- ・ みやぎボクシングクラブ 今野さん相談 (3/6青木)
- ・ 彦根市支援センター ヒアリング (3/7高田)
- ・ 松原さん ヒアリング (3/8紅邑)
- ・ 宮城県断酒会 千葉さん相談 (3/19青木)
- ・ アイセック仙台委員会 大橋さん、八田さん来訪 (3/30紅邑)
- ・ 全国室内気候研究会 氏家さん来訪 (4/3加藤)
- ・ 日本福祉大学 雨森さん ヒアリング (4/13紅邑・青木)

■ NPO広場(日本NPOセンター)

<http://www.npo-hiroba.or.jp/>

■ NPORT(NPOサポートセンター)

<http://www.nport.org/>(NPOサポートセンター)

■ NPOメルマガ図書館(5月めどに立ち上げ)

(市民コンピュータコミュニケーション研究会)

<http://viva.cplaza.ne.jp>

□ せんだい・みやぎNPOセンターのホームページ

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~minminHP/>

全国のNPOを
ネットで検索してみよう!

NPO関係者のみならず「全国各地のNPOを知りたい」という人に朗報です。団体の名称や活動内容をインターネットで検索できるサイトができました。「企業とNPOの連携」や「NPOを起業する」時などにお役立てください。加えて、当センターのホームページもぜひご覧ください。

サポート・ご協力 ありがとうございます(敬称略)

●平成12年度会員 (振込順、3/1~4/14)

(新規)全国室内気候研究会宮城県支部、白石市民活動フォーラム (継続)宮城総合研究所、高鷹厚、グループゆう、長田洋子、市民フォーラム21・NPOセンター、小山厚子、白石・みやぎ環境を考える会、古館光治、高橋清和、茨城NPOセンター commons

●事務局ボランティアスタッフ

遠藤幸枝、緒方布美子、花多山洋子、清水菊男、杉本里織、須藤達也、針生奏子、細野泰志、本郷正武 (五十音順)

●企業協力 東北NSソリューションズ(PONPO-NETの会議室を無料提供)、岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)、幸洋堂(中古備品を社会貢献価格にて)

●個人・団体協力

内海睦夫(中古机)、長田洋子(中古棚・食器ほか)、塚野洋子(中古机)、宮城県断酒会(事務所内レイアウト変更のお手伝い)

★早速欲しい備品の呼びかけに応じてくださりありがとうございます。★

講座・催事案内

■NPO実務講座

「広報・プレゼン活用術」5/15(火)
「団体を生かすボランティア(人材活用術)」6/20(水)
参加費各3000円、当センターにて、18時30分~

■センターサロンの

「地域がフィールドの若者たち」5/16(水)
「NPOへの事業委託ホンネとタテマエ」6/13(水)
参加費500円、当センターにて、19時~

■NPO経営相談

5/25(金) 6/14(木)
1時間あたり 会員2000円(一般2500円)、要予約

■NPO法学習会

(仮)どうなったNPO税制? 6/25(月)
※後日詳しくご連絡いたします。

■第3回 2000年度通常総会 9/9(日)

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
tel 022-264-1281 fax 022-264-1209
E-mail minmin@jca.ax.apc.org
http://www5a.biglobe.ne.jp/~minminHP/
大好評! ホームページ! 更新中!

会員の方へ

■E-mailを教えてください。

様々な情報の受発信で、今後E-mailを活用したいと考えています。アドレスをお持ちの方は「minmin@jca.ax.apc.org」までメールをいただけますでしょうか。個別にニーズにあった情報をお送りできるようにしたいと考えています。

■FAX番号を教えてください。

大切な情報を素速く会員の方に手軽に送るために「FAXみんな」をお送りしています。前はお持ちでなかった方、FAXみんなが届いていない方、ぜひお知らせください。

テレビで活動をPRしませんか!

東日本放送(KHB)の夕方の生活情報ワイド番組「あなたにCue!(キュー)」で、あなたの活動をPRしてみませんか。「直Cue伝言板」のコーナーで、一番町サテライトスタジオからメッセージを直接伝えることができます。イベントの紹介、団体のPRなどに活用してはいかがでしょうか?

●詳しくは、TEL022-276-8402
東日本放送 制作部・熱海さんまで

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



みんな編集後記

■久しぶりにプライベートで東京に出かけ、ジャズコンサートとオペラを楽しんできました。どちらもすごく素敵なホールで、カジュアルな装いで出かけた事が悔やまれました。やっぱり、ハレの日はハレの格好をしなくちゃね。(紅邑) ■最近「ひとり飲める店」をウロウロと物色中。意外な所にいい雰囲気のお店があったりで新発見の毎日。特にそういうお店はご主人が仙台に惚れ込んでいるケースが多く、まちづくり論で盛り上がるのも楽しい今日この頃です。(工藤) ■「サッカー」2でトップを走る「ベガルタ仙台」のゲームを見に行ってきた。観戦してみるとあのスタジアムの雰囲気や歓声というのはクセになりそう。「一度行ってはまる」人も多いのではないだろうか!? 当センターでも「一度来てはまるを人」を物色すべく、楽しくお得な活動をどんどんPRしてきましょう!! (遠藤)

●みんな編集部にご感想をお寄せ下さい! 夏にかけての催事・イベント情報などお待ちしています。